

国語 評価規準【2年】

単元名		ことばと出会おう
単元の目標		体を動かしながら詩を声に出して読んだり、日記を書いたりすることを楽しみ、国語学習への意欲をもつ。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。 長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使っている。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで言葉の響きなどに気を付けて、学習の見通しをもって音読しようとしている。

単元名		声のもののさしをつかおう
単元の目標		いろいろな場面で、話す声の大きさを考えて、気をつけて話すことの大切さに気づく。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に声の大きさや速さなどを工夫し、学習の見通しをもって話そうとしている。

単元名		とうじょう人物のしたことに気をつけて読もう
単元の目標		登場人物の様子を思いうかべながら読み、くまの子になったつもりで音読する。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、学習の見通しをもっておもしろいところを紹介しようとしている。”

単元名		ひろい公園
単元の目標		質問を落とさないように聞き、絵から答えを探す。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。
	主体的に学習に 取り組む態度	積極的に自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、学習課題に沿って質問に答えようとしている。

単元名		じゅんじょに気をつけて読み、つながりを見つけよう
単元の目標		ありとの関わりに気をつけながら、すみれが仲間を増やす仕組みについて説明した文章を読む。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。
	主体的に学習に 取り組む態度	進んで時間的な順序や事柄の順序などを考え、内容の大体を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。

単元名		図書かんで本を探そう
単元の目標		図書館に行き、自分が調べたり読んだりしたいテーマの本を探して、読む。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。
	主体的に学習に 取り組む態度	積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の探し方を知ろうとしている。

単元名		「生きもののクイズ」を 作ろう
単元の目標		生き物について知りたいことを調べ、クイズを作る。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。 「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。
	主体的に学習に 取り組む態度	積極的に必要な事柄を集めたり確かめたりし、学習の見通しをもって「生きもののクイズ」を作ろうとしている。

単元名		うれしく なる 言葉
単元の目標		言葉が表す意味と、その言葉にこめられる気持ちについて考え、話し合う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に言葉には事物の内容を表す働きや経験したことを伝える働きがあることに気付こうとし、学習の見通しをもって「うれしくなる言葉」を伝え合おうとしている。

単元名		くりかえしに 気を つけて、とうじょう人物の 様子を 読もう
単元の目標		繰り返し出てくる言葉に気を付けて読み、繰り返しのあるお話を作る。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って好きな場面を発表しようとしている。

単元名		いなばのしろうさぎ
単元の目標		古くから伝わっている話を、興味をもって聞き、場面の様子を想像する。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、今までの学習を生かして昔話や神話・伝承の書かれた本を探して読もうとしている。

単元名		「かんさつ発見カード」を 書こう
単元の目標		観察して同じところや違うところを見つけ、「かんさつ発見カード」を書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	文の中における主語と述語との関係に気付いている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。
	主体的に学習に取り組む態度	粘り強く事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習の見通しをもって「かんさつ発見カード」を書こうとしている。

単元名		話したいな、聞きたいな、夏休みのこと
単元の目標		夏休みの思い出を、順序を考えて話す。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。
	主体的に学習に 取り組む態度	進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして夏休みのできごとを紹介しようとしている。

単元名		したことや言ったことから、登場人物の考えを読もう
単元の目標		登場人物のしたことを思い浮かべながら読み、登場人物に手紙を書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。
	主体的に学習に 取り組む態度	進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って登場人物に手紙を書こうとしている。

単元名		まとまりを考えて書こう
単元の目標		「はじめ」「中」「おわり」のまとまりを考えて、町探検報告文を書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	積極的に事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、今までの学習を生かして報告する文章を書こうとしている。

単元名		しゃしんをくらべて、考えよう
単元の目標		1枚めの写真から視点を定めて、2枚めの写真になった際、何かが起きたことを想像する。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解し、学習課題に沿って考えたことを文章にまとめようとしている。

単元名		じゅんじょや様子に気をつけて読もう
単元の目標		さけの成長について、季節や場所、さけの様子の移り変わりを考えながら、内容の大体を読む。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、学習課題に沿ってさけが大きくなる様子を説明しようとしている。

単元名		様子をよく見て、くわしく書こう
単元の目標		見つけた物の様子をよく見て、様子が伝わるように詳しく書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをもって記録する文章を書こうとしている。

単元名		だれが、どのようにかわったかを考えて読もう
単元の目標		登場人物のしたことや言ったこと、場面の様子を読み、読書の世界を広げる。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って心に残ったところを文章にまとめようとしている。

単元名		「お話びじゅつかん」を作ろう
単元の目標		自分の読んだ本の中でいちばん心に残ったところを絵に描いて紹介する。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。
	思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を紹介しようとしている。

単元名		しつもんしたり答えたりして、話し合おう
単元の目標		クラスで行う遊びを話し合い、「クラスお楽しみ会」を開く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に互いの話に関心をもち、今までの学習を生かして少人数で話し合おうとしている。

単元名		みじかい言葉で
単元の目標		心が動いたことを短い言葉で書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に語と語や文と文との続き方に注意しながら、学習の見通しをもって心が動いたことを短い言葉で書こうとしている。

単元名		わかりやすくせつめいするための、くふうをたしかめよう
単元の目標		説明の順序を正しく捉えながら読み、おもちゃの作り方を説明する。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで時間的な順序や事柄の順序などを考え、学習課題に沿って「しかけ絵本」を作ろうとしている。

単元名		場面や人物の様子をくわしく読もう
単元の目標		様子を詳しく読んで、読み方を工夫して音読発表会を開く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。 「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会をしようとしている。

単元名		じゅんじょに気をつけて書こう
単元の目標		したことや身のまわりのできごとの中から書くことを見つけ、思い出して、順序を考えて書く。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使っている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、文章を読み返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。 「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	積極的に、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりし、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。

単元名		場面の様子や登場人物の行動に気をつけて読もう
単元の目標		お話の順序に気をつけて読み、あらすじをまとめて紹介する。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いている。
	思考・判断・表現	「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。
	主体的に学習に取り組む態度	進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもち、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。